

入試 Information (定員:150名)

滋賀大学データサイエンス学部では、以下の通り学生募集を行います。なお、入学者選抜方法は各選抜の「学生募集要項」が確定情報となります。出願にあたっては、必ず滋賀大学ホームページで公開している「学生募集要項」を確認してください。

一般選抜 (定員:110名)

前期日程と後期日程のそれぞれで学生募集を行います。さらに、後期日程では、「個別学力検査型」と「面接型」の2区分に分けて募集します。

日程	区分	定員
前期日程	—	70名
後期日程	個別学力検査型	30名
	面接型	10名

▶ 前期日程・後期日程 (個別学力検査型)

右の通り実施します。大学入学共通テストの利用教科・科目や、個別学力検査の出題範囲は学生募集要項を確認してください。

区分	大学入学共通テスト	個別学力検査		計
	6教科8科目 (7教科8科目)	英語	数学	
前期日程	1,000点	300点	300点	1,600点
後期日程 (個別学力検査型)	1,000点	500点	500点	2,000点

▶ 後期日程 (面接型)

大学入学共通テスト (国語、数学、外国語の3教科4科目) の得点による第1段階選抜合格者に対し、オンラインでの面接試験を課します。詳細は学生募集要項を確認してください。

総合型選抜 (定員:40名)

右の通り募集します。なお、総合型選抜IIでは、最終選考として大学入学共通テストを課します。

※総合型選抜では、本学が定める資格・検定の合格者に対し30点を上限に加点します。対象の資格は学生募集要項を参照してください。

区分	定員	概要
総合型選抜Ⅰ	オンライン講座受講型 一般枠:20名 女子枠:20名	本学部がWeb配信するMOOC教材の視聴を必須とする選抜
総合型選抜Ⅱ	実績評価型 若干名	全国規模で開催されるデータ分析やプログラミングに関するコンペティション等への参加経験者を対象とした選抜

3年次編入学試験

高等専門学校卒業 (見込) 者を対象に、3年次編入学試験を実施します。

「学生募集要項」公開予定時期

▶ 一般選抜 11月 ▶ 総合型選抜 7月

滋賀大学ホームページ
「大学案内・学生募集要項」



交通アクセス／彦根キャンパス

■ 電車でお越しの方

JR琵琶湖線 (東海道本線) 彦根駅西口より、次のバス等にご乗車ください。

◎ 滋賀大学直行バス…約10分／100円
(土、日、祝日、夏季一斉休業期間、年末年始は運休。
入学試験実施日は臨時ダイヤで運行)

◎ タクシー…約5分／1000円程度

◎ 徒歩…約25分



国立大学法人 滋賀大学 データサイエンス学部事務室

〒522-8522 滋賀県彦根市馬場一丁目1番1号 TEL : 0749-27-1045 FAX : 0749-27-1132

ホームページ

www.ds.shiga-u.ac.jp

滋賀大学
SHIGA UNIVERSITY

2025年度
入試から
募集人数が増加
100名 → 150名

DIVE TO THE FUTURE

データサイエンス学部

Faculty of Data Science

2027

データサイエンスで未来を変えよう!!

PLAYER: **TSUBASA MORIGUCHI**

「データサイエンス」を学んだ先の未来はどうなっているの？
2021年にデータサイエンス学部を卒業した森口翼さんのレベルアップの軌跡をご紹介します！

LEVEL 01

サッカーひと筋で
プログラミング経験ゼロ

SKILL

ビジネス

エンジニアリング

データ分析

価値創造



オンリーワンになれる道を探して データサイエンス学部に進学！

もともとプロサッカー選手になるのが夢で、高校までサッカーの練習に明け暮れていました。名前が「翼」ということもあり、漫画『キャプテン翼』に憧れたのですが、高校では“副”キャプテン翼止まり……。これもきっかけになり、「オンリーワンになれる進学」を考え、日本初のパイオニアとして新たな分野を学ぶことに価値を感じて、滋賀大学データサイエンス学部で第1期生として入学しました。

LEVEL UP!

LEVEL 02

LEVEL UP!

経験ゼロからスタートし、在学中に 6つの企業連携プロジェクトを経験

1～2年次は統計学、線形代数、プログラミングなど、データサイエンスの基盤となる知識を習得。Python、Rなどのプログラミング言語だけでなく、WebサイトをつくるHTMLを使ったコーディングなども覚えました。その後、3年次からは、所属していた河本薫教授のゼミで、企業連携プロジェクトに力を入れました。3～4年次の2年間でマーケティングから製造業など合計6つのプロジェクトに取り組みました。



SKILL

ビジネス

エンジニアリング

データ分析

価値創造

LEVEL 03

統計検定2級

TOEIC 825

Python

HTML

機械学習

データサイエンティスト検定

ITリポート

SKILL

ビジネス

エンジニアリング

データ分析

価値創造

森口翼さん

滋賀大学データサイエンス学部 2021年卒
日本航空株式会社勤務

日本航空に就職して全社の データサイエンス推進をサポート

大学卒業後、日本航空（JAL）に入社し、現在は顧客データ戦略室で、全社のデータサイエンス推進をサポートしています。具体的には航空領域・非航空領域を横断したデータを分析して、そこから意思決定の役に立つ情報を抽出するのが私の仕事です。例えば、訪日外国人の顧客データをもとに、再訪促進や単価向上につながる要因を分析し、中長期的な顧客育成のための方法などを検討しています。



データサイエンス産業を推進して、 日本の国際競争力の発展に貢献する！

JALのような事業会社では、「データ分析を強みとするビジネスパーソン」は、オンリーワンな価値を発揮しやすい環境にあると実感できます。最近、JALに所属しながら、一般社団法人データサイエンティスト協会の活動にも参加しています。滋賀大学データサイエンス学部第1期生という「武器」を活かしながら、活動の幅を広げています。将来の目標は「日本のデータサイエンス産業を推進して、国際競争力の発展に貢献すること」。現在は、JALを「データドリブンカンパニーにする」という目標に向けて日々尽力しています。



DATA SCIENCE

情報通信技術の発達により、世の中の膨大な情報は日々インターネットに蓄積され、ビッグデータとなっています。このビッグデータとさまざまなデータを対象とする学問がデータサイエンス。現在、データサイエンスは国際競争力の源と考えられており、ビッグデータの利活用による新たな価値創造とその無限の可能性に、世界中が期待を寄せています。

森口さんインタビューのつづきはこちら >>>

TO BE CONTINUED...



STUDENTS' VOICES

私たちがデータサイエンスを選んだ理由。



文系出身でも挑戦しやすく、
どの科目も興味深く学べる。

八柳 祐成さん
2025年入学 川越高校(三重県)



身のまわりのデバイスがインターネットに接続され、今後さらに多くのデータが集まる社会で、それらを正しく活用できる力が重要だと思い、この分野を学ぶことにしました。滋賀大学を選んだ理由は、専門教員の多さと、学べる領域の幅広さです。高校時代は文系でしたが、滋賀大学は文系でも挑戦しやすい雰囲気があり、この点も魅力に感じました。入学後はどの科目も興味深く、統計学やプログラミングでは実際に手を動かしながら学ぶことで、深く理解することができています。大学の授業で苦労した科目もありましたが、同級生のサポートに加え、生成AIを活用して内容を整理し、克服することができました。

データサイエンスを軸に
興味を持てる分野を見つける。

永嶋 あけみさん
2023年入学 静岡高校(静岡県)



高校時代は文系を選択していましたが、受験勉強をする中で数学が好きになったことと、将来の方向性が定まっていなかったため、データサイエンスに注目しました。データサイエンスの知識は広く社会で必要とされているだけでなく、学ぶ中で興味を持てる分野を見つけることで、その知識を活用できると思ったのです。滋賀大学を選んだのは日本初の学部で、実績や先輩方とのつながりがあり、学ぶ環境が整っていると感じたから。実際、琵琶湖に吹く風を分析する自主ゼミで先輩の分析に触れたことで、めざす分析手法が見つかったり、気になる分野の専門の先生から話を聞く機会をいただいたりと充実しています。



独自のカリキュラムで
実践的な学びを重ねる。

栗原 空那さん
2024年入学 大手前高校(大阪府)



理系的な思考を活かして災害や人口問題、国際問題などに取り組む方法を探していたときに、「データ分析による結果」があれば説得力が増すと感じ、わくわくしたことがこの分野を学びたいと思ったきっかけです。日本初のデータサイエンス学部である滋賀大学には、カリキュラムと卒業生の進路に実績があること、さらにオープンキャンパスに参加して、自分がここで学ぶ姿をイメージできたことから進学を決めました。入学してみると、地域の方々の協力で実社会に近い分析ができる機会も多くあり、「自分の感覚だけに頼らず、裏付けのある正確な情報を活用して課題解決したい」という思いが強まりました。

実践につながる学びを
主体的に行えることが魅力。

小田 裕明さん
2024年入学 高松中央高校(香川県)



高校時代は心理学や医療など多方面に興味を持っており、データサイエンスならさまざまな分野に携われることから、日本初のデータサイエンス学部として実績がある滋賀大学を選びました。入学後は、理論に加えて企業データの分析をグループで行ったり、データの活用事例を調べたり、自主ゼミに参加したりと、実践につながる学びを主体的に行えることが魅力だと感じています。文系科目で受験したため、入学後に数学IIIの勉強をすることになりましたが、同級生に教えてもらったほか、大学の手厚いサポートで乗り越えることができました。



| DATA |



文理融合を掲げる本学部では、理系出身者が多いものの、約7:3の割合で在籍しており、教員が苦手分野をフォローする体制も整っています。

Have a Talk



多様な専門性が拓く、データサイエンスの可能性

市川 滋賀大学にデータサイエンス学部（以下DS学部）が開設されて以降、国内にデータサイエンス系の学部が増えました。こうした動きの中、皆さんが本学を選んだ理由を教えてください。

水谷 進路で迷っていたとき、地元の滋賀大学に日本初のDS学部が開設されたニュースを思い出しました。医学部も考えていましたが、データサイエンスなら医療全体を良くすることも、まったく違う分野の課題も解決できる。そんな無限の可能性を感じて、DS学部のパイオニアである滋賀大学を受験しました。

幸田 私は生物や農学、医学に興味があったのですが、さまざまな学部を調べる中で、データサイエンスの知見を身につけることで将来の選択肢を広げられると思い、進学を決めました。通学圏内の国立大学であることも大きかったです。

仲本 進路を考える中でデータサイエンスを知り、統計はどこにでも存在するという言葉が心に残りました。高校時代は文系でしたが、滋賀大学DS学部は文系にも入学の門戸が開かれていることから志望しました。彦根キャンパスは琵琶湖が近く、落ち着いた雰囲気が気に入っています。

市川 では、入学前後でデータサイエンスへの印象に変化がありましたか。

仲本 「正真正銘の統計学部だな」と感じました。数学系の科目が難しく、最初は焦りもありました。

市川 文系出身の学生は苦労するかもしれませんが、粘り強く取り組むことが大切ですよね。

仲本 はい。授業終わりに先生に聞いたり、友人と課題に取り組んだりするうちに、理解できるようになりました。親身に教

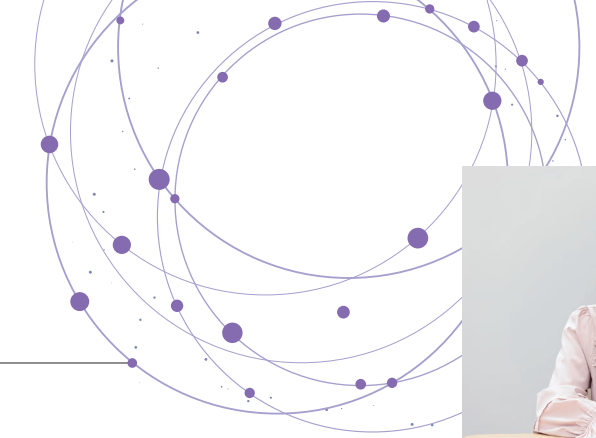


えてくださる先生が多く、心強いです。

水谷 入学前はプログラミングばかりの毎日を想像していましたが、まったく違いました。社会の潜在的な課題を見いだしたり、現場に足を運んでヒアリングしたりと、座学だけでは完結しない、多角的で柔軟な思考と知見が求められる学問だと思いました。

幸田 チームでデータを分析する授業

（左から）
市川 治 データサイエンス学部 学部長
水谷 旭陽さん 4年 滋賀県立守山高校（滋賀県）
仲本 凌里都さん 4年 沖縄県立那覇西高校（沖縄県）
幸田 怜奈さん 3年 京都市立西京高校（京都府）



や企業のデータサイエンティストの方と接する機会の多さに驚きました。理系・文系を問わず、チームワークやコミュニケーション能力など実践的なスキルが重視されることも感じました。

市川 本学部は実践的な学びを大切にしています。特にどんなデータにも対応できる人材を育成する教育体制が強みです。そのため、犯罪統計や気象観測、アートやゲームなど教員の専門分野も多様です。皆さんが受けた授業や実習で、印象に残っているものはなんですか？

幸田 「プログラミング4」です。HTMLを用いて自分でWebページを開発する実践的な授業が楽しかったです。また、生データを分析可能な形式に加工するための前処理技術を学ぶ「データ研磨」は、その後の授業や実習でも活用しています。

仲本 R言語を学ぶ「基礎統計活用演習」を受講したことで、統計的な考え方を身につけることができ、その後の学びの土台になっているように思います。また、データ活用の事例を学ぶ「ビジネス価値創造論」を通じて、日々の学びが社会に直結している実感を持てたことも学習意欲のプラスになっています。

水谷 音楽とデータサイエンスの融合に関心があり、国立音楽大学との連携事業に参加できたことは、自らの興味をさらに深く追求する貴重な機会となりました。現在履修している「情報学への招待」は、毎回異なる業界の第一線で活躍するトッププロデューサーたちから最先端の事例を至近距離で学べ、その講義内容に刺激を受けています。

市川 DS学部の広範な学びの意義を感じ取ってくれていて、うれしいですね。もう一つの特徴に、産官学連携があります。これまで500件以上、現在も約70件のプロジェクトが進行していますが、参加したことはありますか？

仲本 私は自動車生産設備会社の人事データから、社員の成長や働きやすい環境を探るプロジェクトに参加しました。企業の方の反応が良く、人の働き方や幸せにも貢献できることを実感しました。

水谷 「阪神グループデジタル人材養成プログラム」という社会人向け研修で、学生メンターを務めました。

市川 企業の実課題に対して、学生がデータで解決策を提案する、かなり実践的なプログラムですね。企業からの評価が高かったと聞いています。

水谷 ありがとうございます。自分たちの分析が実際のサービスに反映されるかもしれないと思うと責任も感じましたし、何よりやりがいがありました。

幸田 私はDS学部のタイ研修（タイ・スタディツアー）に参加し、タイを代表する巨大複合企業や日系企業の現地法人への訪問など、国際的なビジネス現場におけるデータサイエンスの関わりを肌で感じることができました。

生成AIは補助ツール 自らで活かすことが重要

市川 滋賀大学は生成AIの適切な活用を推進しています。どのように使っていますか。

仲本 勉強中の統計検定の問題で、わ



からない箇所を生成AIに解説させているほか、私は哲学が好きなので問答を繰り返すこともあります。家庭教師や対話のパートナーのような存在です。

幸田 授業でのプログラミングに用いていますが、生成AIが提示したコードがエラーになることがあります。その原因を判断するのは人間なので、むしろプログラミングの正しい知識がより必要になると感じています。

水谷 授業でもインターン先でも生成AIを使う中で、生成AIがものすごい勢いで進化し続けていることを実感しています。価値を創造するためにどう使いこなすか、DS学部で学ぶ学生として、そのための力を磨き続けることが大切だと思います。

市川 生成AIを万能視せず、あくまでツールとして主体的に活用していることは、大変心強いです。では最後に、皆さんの今後の目標を教えてください。

幸田 河本薫先生のゼミでさまざまな企業、ビジネスに関する実データの分析を行い、自らの適性を見極めていくつもりです。データサイエンティストとして国際的な活躍もめざしていきます。

仲本 大学院に進学し、大規模言語モデルを基盤としたAIエージェント、特に複数のAIが対話する集団エージェントについて研究を考えています。研究の成果を、志望するエンターテインメント業界で活かしていきたいです。

水谷 私も大学院に進みます。音楽とデータサイエンスを融合させた新しいパフォーマンスを開拓したいと考えています。

市川 分野を問わず、身につけた知識や技術を社会課題解決のために即還元できることが滋賀大学DS学部の強みです。データから新たな価値を創造し、未来を切り拓く力をぜひ自分のものにしてほしいと思います。

膨大なデータから未来を変える 〈価値〉を見出そう。

社会に溢れるデータを読み解き、有益な価値を見出すのがデータサイエンス。
基礎となるのは高度なデータを処理するための情報学およびデータを分析するための統計学です。
本学部ではこれらの手法に加え、AI・経済学・経営学などの基礎知識やコミュニケーションスキルなどを学び、
さまざまな領域に応用してイノベーションを起こす力を備えた文理融合型の人材を育成します。

学部の特徴

データサイエンスに特化した 日本初の学部。

本学部は、2017年4月に設置された日本初の本格的なデータサイエンス学部です。最先端の情報技術、高度な統計手法といったスキルのほか、経済、経営などについて学べる授業もあり、幅広い能力を身につけることができる文理融合のカリキュラムです。

データサイエンスに関連する 充実の教授陣。

情報学、統計学の教員をはじめ、医学、社会学分野で活躍してきた教員、公的機関や企業での豊富な実務経験者による多彩な教育を実施しています。ビジネス分野の第一線で活躍をしている方々の話を聞くことができる講義も行っています。

多彩な企業との連携と 教育へのフィードバック。

多くの公的機関や企業がデータサイエンスを活用し、今後の発展を模索し続けています。本学部では多数の企業連携を行っており、最新技術や各分野の課題を学生にフィードバック。リアルタイムに知識を身につけ、将来へつなげます。

取得できる・めざせる資格

所定の単位を取得することにより、社会調査士とSAS Academic Specializationの資格や、気象データアナリスト育成講座の修了証明を取得できます。また、情報処理技術者試験（基本情報技術者試験、応用情報技術者試験）、統計検定（準1級、2級）、品質管理検定（2級）の合格をめざしたカリキュラムです。

社会調査士

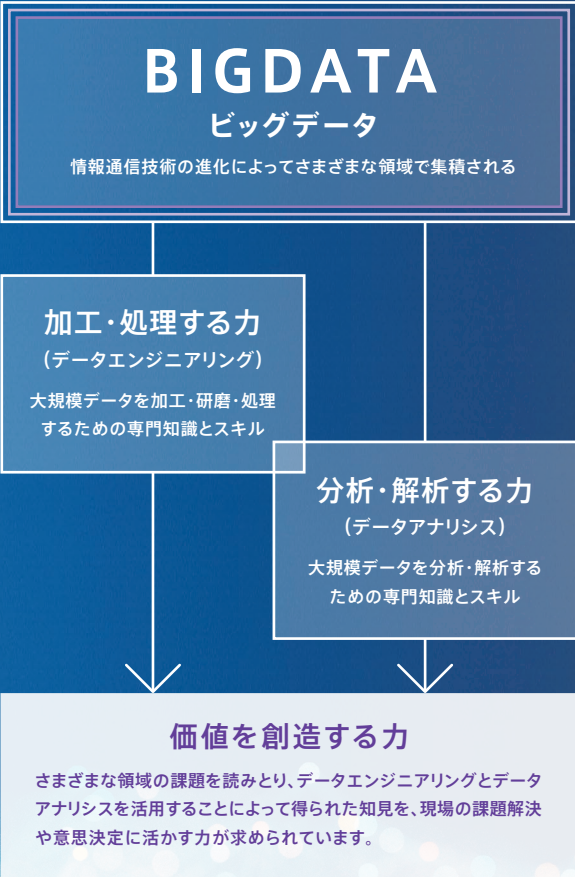
SAS Academic Specialization

気象データアナリスト

情報処理技術者

統計検定

品質管理検定



Pick up

※情報は取材当時のものです。



01 AI概論

日常生活でもよく耳にするAIは、現代社会のあらゆる場面で活用されています。そんなAIや情報科学が扱う分野、基礎を学び、さらに従来の作業がどのように効率化されてきたか、そして今後どのように活かすことができるかを考えます。数や情報の表し方、プログラミング言語、情報倫理など、将来、専門科目を学ぶために必要な内容を網羅した、データサイエンスの入門的な科目です。

📖 授業のココがおもしろい！

身近なAI技術を、理論から学べるのが魅力。

小山 琴心音さん 1年 山城高校(京都府)

IT用語の正しい意味や、今のAI技術に至るまでの流れを知ることができ、「これ、授業に出てきた!」と日常と学びがつながる感覚が味わえます。大学で学ぶデータサイエンスの入門要素がひと通り詰まっているので、希望する分野を考えるきっかけにもなる科目だと思います。

02 多変量解析入門

多変量解析とは、ある対象から得られた複数種類のデータを要約したり、予測したりするための方法のことです。手法は分析目的に応じてさまざまで、本科目ではその一部を学びます。多変量解析の各手法がどのような目的で、どのようなデータに対して用いられ、どのような結果をもたらすのかを理解してもらうことが目標です。この講義を通して、データに潜む特徴を自分の力で探し出す力を身につけます。

📖 授業のココがおもしろい！

解釈を考えるのが難しくも、おもしろい。

上原 教幹さん 2年 沖縄尚学高校(沖縄県)

複数のデータの関連性を分析する手法を学び、データが持つ潜在的な特徴や関係を捉えられるようになりました。分析結果をどのように解釈するかは難しくもあり、おもしろさがあります。将来、データを活用する仕事をするうえで、大きな武器になる科目だと思います。

03 社会調査実践演習

社会の問題を適切に理解し、分析することが社会調査には求められています。また、学んだ理論や分析手法を元に、調査経験を積むことも大切です。そこで自治体や企業などと連携し、実際に調査を行います。1年間でアンケート調査の方法、回答データの前処理や分析方法などを実践形式で学ぶことができるほか、後半では外部に向けた発表会や報告書の作成などを通して分析の成果を公開します。

📖 授業のココがおもしろい！

実際に調査を行うことで、プロセスの重要性を体感。

田中 恒輝さん 3年 和歌山工業高等専門学校(和歌山県)

仮説を立ててアンケートを作り、分析するという調査の一連の流れを経験するなかで、仮説を検証するためには、アンケート項目の設定や、回答データの前処理が重要であることに気付かされました。仮説と異なる結果が出たときにその理由を考えることも、貴重な機会となりました。

04 ビジネス価値創造論

データから価値を創出するために最も重要な力は、現場の悩みからビジネス課題を発見し、課題解決のために分析すべきデータを考えることです。講義では通信や航空、鉄道、製造などのビジネス現場で、データサイエンティストとして活躍されている方々を講師に迎え、実際のビジネス事例を元に課題解決に必要なことを学びます。ほかにはない、滋賀大学オリジナルの講義です。

📖 授業のココがおもしろい！

データ活用の実例を知り、現場視点が身につく。

片岡 純一さん 3年 明星高校(大阪府)

企業で実際にデータを扱っている方から、さまざまな分野における活用実例をお聞きしたことで、データ分析の知識を、どのようにビジネスの現場で使えるようにするか、改めて考えることができました。また、課題発見力や実践的なデータ活用の視点が身についたように感じます。

05 画像処理

画像処理は、画像を数値データとして捉え、加工・分析する技術です。「画像を補正する」だけでなく、写っている物体や文字を認識し、「画像から情報を引き出すこと」により、価値創造へとつなげます。講義では、画像処理の基礎から深層学習を用いた認識・生成までを体系的に習得します。演習では学生が自由にテーマを設定し、課題に取り組みます。古典的な画像処理手法に加え、カスタムCNN(畳み込みニューラルネットワーク)やVision Transformerなどの最新モデルを用いた画像分類、AutoEncoderによる異常検知、YOLO(YouOnly Look Once)による物体検出、GAN(敵対的生成ネットワーク)による画像生成など、テーマに応じた手法と工夫を取り入れます。

📖 過去のテーマ例

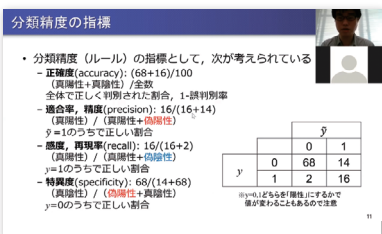
- ポケモントイプ分類と画像生成
- 異常検知モデルによるフェイク画像の分類
- 学食の自動レジ化
- YouTubeのスキップボタンの自動検出とクリック
- 弓道の姿勢自動評価

06 人工知能論

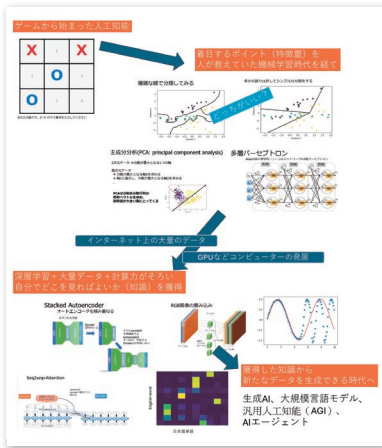
この科目は講義と演習のセットで構成され、講義では、人工知能の歴史から最新のAI技術までを学びます。演習では、講義で学習した探索や推論、機械学習に関する課題、深層学習に関する課題に取り組み、実際に実装することで理解を深めます。AIをブラックボックスとしてではなく、仕組みを理解したうえで活用できる力を養います。

📖 どうしてAIと会話ができるのか？

ChatGPTのように知識が豊富で会話ができ、視覚や聴覚も備えた生成AIの登場により、私たちの生活は一変しました。最新のAIでも、初期のAIから共通している仕組みは、「知識を与えられ、それをもとに推論する」ことです。もともとは人がAIに知識を教えていましたが、現在はデータから自動で知識を獲得する機械学習・深層学習へと進化しています。これはまさに、データから知識を引き出すデータサイエンスそのものです。最新のAIでは、知識は潜在表現とよばれるベクトル(数字の並び)として保存されています。その中から、必要な情報だけをアテンションという「今、必要な情報に注目する仕組み」を用いて取り出し(実際にはベクトルの演算)、さまざまな知的なふるまいが生み出されるのです。



(写真下)多変量解析の目的の1つである分類問題についての説明資料



人工知能がタスクをこなすための構造を学びます

Seminars

データを軸に、学部専任教員ならびに滋賀大データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター教員のゼミでは、さまざまな視点から価値創造につながる研究を行っています。

【統計的データ解析の実践】
佐藤 健一 ゼミ

SATO
Kenichi



統計学とR言語を駆使して
データ構造を読み解く。

ネットショッピングの「あなたへのおすすめ」は、買い物データに隠れたパターンを見つけることで予測されています。このような技術の一つが非負値行列因子分解 (NMF) です。応用範囲は広く、果物の成分データから「モモとスモモは似ている」ことを発見したり、都道府県間の車の移動データから地域構造を浮かび上がらせたり、大統領演説の話題の時代変化を定量化したり、手書き文字から「ふつうでない」画像を検知したりできます。ゼミでは学生の自主性を大切にしており、興味に応じたテーマに挑戦できます。これまでの卒業研究も源氏物語の文体分析、犯罪データの地図分析、観光ルートの分析、花押の画像分析など多彩で、統計を武器にあらゆる分野の問題に取り組めるのがこのゼミの魅力です。

【知的情報処理技術】
飯山 将晃 ゼミ

IYAMA
Masaaki



画像・映像から人や環境を理解し、
人間の活動を支援するシステムを構築。

コンピュータの目を通して世界のさまざまな現象を理解・分析することを目的として、画像処理・画像認識の技術とその産業応用（製造業・気象・一次産業・教育）に関する研究に取り組めます。実際にデータを扱ってみて初めてわかることも多いので、ゼミでは座学だけでなく実際のデータを使ったプログラミング演習を通して知識・技術を学んでいきます。その後、学生の興味に応じて個別の研究テーマを設定し、卒業レポートに向けてディスカッションをしながら研究を進めます。世界でまだ誰も取り組んでいない最先端のテーマを発見し、試行錯誤しながら取り組むことで、社会に出てから必要とされる問題発見能力と解決能力を身につけることができます。

自主ゼミ「大阪・関西万博 Robot Friendly Project への参画」

太田 智美 講師／市川 治 教授

「自主ゼミ」は、希望する学生が半期ごとに自由に選択できる、滋賀大学独自のゼミ制度です。単位認定や出席義務はなく、教員が掲げるテーマに関心をもつ学生が集まり、自主的に活動しています。本自主ゼミでは、社会の中でのロボットとの暮らしを考える「Robot Friendly プロジェクト」と連携し、実践的な活動を展開。2025年度には大阪・関西万博への出展が採択され、滋賀大学からは38名の自主ゼミ生が参加しました。会場では、ロボットと暮らす「ロボットパートナー」とそのロボットが来場者と交流。ファッション誌『ROBOFRIE』や「新ロボット3原則」の発表、おさんぽツアーや音楽演奏などの企画を通じて、ヒトとロボットの共生社会について考える場を創出しました。学生たちは展示運営に携わるだけでなく、SNS分析や音声・画像解析、アンケート調査などを行い、実践的な研究へとつなげています。



【ゼミ一覧】

青木 敏	統計的データ解析の理論と応用	推測統計の基礎と、統計的データ解析の理論の基礎を学び、ソフトウェアを利用して実践できる能力を身につけます。
青木 高明	数理地理モデリング・ネットワークの数理	人の流れや地理情報システムなどのデータを活用し、人文・社会科学の課題を解決します。
石川 祐実	健康についての実証分析	家族や職場の中でどのような要因が健康を形成しているのか、健康の増進を支えられる可能性があるのかについて、経済学的手法を用いた実証分析を行います。
和泉 志津恵	医療における実データの特徴を探索する	病気の予防や体調の改善には何が関係しそうなかを予想し、定期健康診断データを用いて調べます。そのデータ解析の結果を医療関係者へフィードバックします。
市川 治	音声・テキストデータの分析と機械学習	音声データとテキストデータの機械学習を中心に、その産業や教育への応用を研究しています。扱うデータは幅広く、教育データや音楽データも取り扱います。
今井 貴史	機械学習を用いた時系列データ分析	時系列予測・時系列分類・時系列クラスティングといった問題に有効な機械学習手法を広く学び、実問題への応用や新たな手法の開発に取り組みます。
岩山 幸治	データサイエンスのための数理モデリング	スポーツ、金融、農業など対象を限定せず、現象を数理的に表現することを通してデータを分析し、対象の理解や予測、意思決定につなげることをめざしています。
梅津 高朗	モバイルコンピューティング・センサーネットワーク	モバイルデバイスやセンサーを使った情報収集や交通データの応用など、ソフトウェアを使った問題解決を行っています。
江崎 剛史	化学・生命科学のデータサイエンス	化学分野で取得されるデータを使った分析を行います。Pythonやノーコードツールを使って、課題解決に向けて取り組みます。
太田 智美	ヒトとロボットの共生・メディアデザイン・音楽	自分のやりたいことを軸に、社会を創造することをめざします。現在取り組んでいる主なテーマは、「ヒトとロボットの共生」「メディアデザイン」「音楽」です。
大塚 道子	気象データ分析	モデルや観測から得た気象データを解析し、災害を起こす極端気象、身近な琵琶湖周辺の気象・波浪、気候の長期変動、社会・経済活動と気象との関係などを調べます。
奥村 太一	能力や人となりを可視化する	国際学力調査などのデータ分析を通じて、教育や心理に関する問いに実証的に答えることをめざします。
川井 明	高度交通システム	英語、発表能力、資料作成能力を磨くために英語記事の輪講をします。交通系中心の実データを扱います。
河本 薫	ビジネスデータサイエンティスト育成ゼミ	製造現場からマーケティング、数値・画像・音声データも扱える、企業が欲するデータサイエンティストになるため、2年間で7つの企業連携PBLに挑みます。
来嶋 秀治	組合せ、確率、計算に関する数理	データサイエンスに現れる組合せ最適化、バンディット問題、ゲーム理論などを題材に、計算効率に関する数学的証明に取り組めます。
佐藤 健司	リアル世界で活躍する力を身に付ける	製造業において求められる、自らデータを収集し、最適解を求める力を身に付けます。AIにはできない、課題を見つけて改善を提案する力を強化します。
佐藤 智和	画像解析・画像合成・AR/VR	画像や映像から実世界情報を抽出するコンピュータビジョンと、抽出されたデータを活用して仮想世界上で情報を可視化するAR/VRについて研究します。
佐藤 正昭	公的データの実践的な利活用・EBPM	社会に関する多様なデータ（人口や経済活動など）について、さまざまな分析手法を適用しながら、社会課題や人間の活動を考察していきます。
島田 貴仁	犯罪予防と社会環境のデータサイエンス	犯罪学・環境心理学の視点から、警察・自治体の防犯・地域政策部門と連携したデータ分析・アンケート調査・社会実験を通じて、安全で住みやすい社会・コミュニティをめざします。
伊達 平和	社会調査を通じて社会・文化を読み解く	アンケートやインタビューによってさまざまな社会問題や社会現象を理解します。主要なテーマに依存症、ジェンダー、LGBTQ、教育格差などがあります。
田中 琢真	機械学習を実践して学び、データを自ら収集する	「退屈な映像って何?」「元気があってどういこと?」は素朴なのに、答えようとすると難しい問いです。実験と質問紙でデータを集めて分析し答えを探します。
Tran Dinh Tuan	画像解析・機械学習・LLMを基盤とした知能情報処理研究	カメラで撮影した画像や映像データを対象に、画像処理、機械学習、深層学習、大規模言語モデル (LLM) などの技術を用いた分析・研究を行っています。
寺口 俊介	“データサイエンティストごっこ”	各ゼミ生が独自のデータ解析プロジェクトを企画し、別のゼミ生がそれを受注し実行するグループワーク(=“データサイエンティストごっこ”)を行っています。
南條 浩輝	自然言語・画像の分析とAI、マルチモーダルAI	テキスト・音声・画像を扱います。また、これらを複数扱うマルチモーダルAIを活用し、主に自然言語を含むデータ（図解文書、講義動画等）から価値を創造します。
姫野 哲人	多変量解析の実践	インターネット調査データ、企業が持つ実データ、POSデータ、コンペティション参加など、実データに実際に触れて課題解決手法を実践により身につけます。
藤井 孝之	時系列データ分析	数理統計学への理解を深め、Rなどのツールを用いて時系列データの分析に取り組めます。
堀 兼大朗	人々の生活様式を理解する	消費行動、娯楽の選択、価値観、日常の悩みなど、人々のライフスタイルに関するさまざまな側面を、アンケート調査を通じて詳細に分析します。
増田 純也	マーケティング・サイエンス	PBLやコンペティションへの参加などで企業データの分析を通じて、マーケティング活動の意思決定につながるデータ分析を学んでいきます。
松井 秀俊	データ分析のための統計的モデリング	世の中にあるデータはさまざまな形式を持ち、分析目的も多様です。そのようなデータを分析するための多変量解析や機械学習などの統計的モデリング手法を学びます。
村松 千左子	画像解析・医用画像解析による診断支援	主にディープラーニングを用いて、画像や関連する数値・テキストなどから有用な情報を引き出します。医用画像やデータが入手可能な好きな画像を対象に行います。
森岡 博史	非線形表現学習によるデータ駆動サイエンス	機械学習・深層学習を基盤とする非線形表現学習の理論と応用により、高次元データの潜在構造を解き明かします。
山口 崇幸	データサイエンスと数理科学	データ解析に必要な数学をおさえて、感染症数理や最適化などの実データを用いた研究に取り組みます。
吉田 拓真	リスク分析のための統計的モデリング	自然現象や金融などさまざまな場面で、想定外な事象が起こるリスクを定量的に分析する必要性が生じます。私のゼミではそのようなりスク分析に特化した統計的モデリングを学びます。
義久 智樹	IoT (Internet of Things) データサイエンス	みんながより豊かに暮らせる世界をめざして、スマートフォンなど各種センサーから得られるIoTデータを高速高精度に分析する技術を研究しています。

このほかにも、データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター教員によるゼミも開講されます。
詳しいゼミ情報はホームページの各教員ページをご覧ください



さまざまな企業と連携し 実践的な学びが可能に。

滋賀大学データサイエンス・AIイノベーション研究推進センターでは、先端的な教育研究活動を行うとともに、企業や公的団体との連携、多様な大学間連携を通じて、さまざまな分野における新たな価値創造、社会貢献、教育開発を行っています。センターを通じての結びつきは教育にもフィードバックされ、卒業後の就職先としてめざすことが可能です。

滋賀大学データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター >>>

Data Science and AI Innovation Research Promotion Center, Shiga University

産 官 学 連 携 (一部抜粋)

金融系

- あいおいニッセイ同和損害保険 (株) > Pickup
- (株) SMBC信託銀行
- SMBC日興証券 (株)
- (株) 大垣共立銀行
- (株) 関西みらい銀行
- (株) 京都銀行
- (株) 滋賀銀行
- 滋賀中央信用金庫
- (株) 第一ライフグループ
- 東京海上日動火災保険 (株)
- トヨタファイナンス (株)
- (株) 日本政策金融公庫
- (株) 三井住友フィナンシャルグループ

情報通信・サービス系

- 旭情報サービス (株)
- 市川甚商事 (株)
- 伊藤忠テクノソリューションズ (株)
- (株) インテージホールディングス
- インフィック (株)
- エイチ・ツー・オー リテイリング (株)
- (株) エクスプラス
- SGシステム (株)
- (株) NXワンビシアークライブ
- NTTドコモビジネス (株)
- (株) NTTデータグループ
- (株) NTTドコモ
- エヌビディア合同会社
- (株) エム・ジェイホーム
- オムロン ソーシャルソリューションズ (株)
- (株) キントー
- (株) QUICK
- (株) クレオ
- (株) シーエーシー
- (株) 滋賀レイクスターズ
- (株) 新日本科学PPD
- (株) SCREENアドバンスシステムソリューションズ
- (株) セゾンテクノロジー
- (株) ダイセル
- 第一生命テクノクロス (株)
- (株) Diveto
- タック (株)
- (株) 帝国データバンク > Pickup
- ディナレージ (株)
- (株) Terakoya.AI
- (株) TOAI
- 日本アイ・ビー・エム (株)
- (株) 日本総合研究所
- 日本ソフト開発 (株)
- (株) 野村総合研究所
- (株) バルコ
- バルテス・ホールディングス (株)
- ビーウィズ (株)
- (株) PKUTECH
- PwC Japan有限責任監査法人
- (株) 日吉
- 富士通 (株)
- (株) 平和堂
- (株) マイナビ
- マギー (株)
- (株) マクロミル

- 三井物産 (株)
- 合同会社 mitei
- ミラカン合同会社 (株)
- ヤンマーエネルギーシステム (株)
- 読売新聞東京本社
- (株) ワッツ

製造・インフラ系

- (株) IHI
- (株) アイシン
- (株) アイセロ
- (株) アシックス
- (株) イシダ
- 石原ケミカル (株)
- ウシオ電機 (株)
- エーザイ (株)
- 江崎グリコ (株)
- 大阪ガス (株)
- カナデビア (株)
- 関西エアポート (株)
- 近鉄グループホールディングス (株)
- グローリー (株)
- (株) 神戸製鋼所
- (株) サカイ引越センター
- サカタインクス (株)
- 佐藤工業 (株)
- (株) SUMCO
- (株) 神鋼環境ソリューション
- JX金属 (株)
- (株) SCREENセミコンダクターソリューションズ
- 住友ゴム工業 (株)
- 全日本空輸 (株)
- 第一工業製薬 (株)
- ダイキン工業 (株)
- ダイハツ工業 (株)
- (株) ダイフク
- タキイ種苗 (株)
- 田辺ファーマ (株)
- (株) デンソー
- 東海旅客鉄道 (株)
- 東京ガス (株)
- (株) 東芝
- 東洋システム (株)
- 東レエンジニアリング (株)
- TOTO (株)
- 豊田合成 (株)
- トヨタ自動車 (株) > Pickup
- トヨタ自動車九州 (株)
- 西日本旅客鉄道 (株)
- 日光水産 (株)
- 日東電工 (株)
- NISSHA (株)
- 日本車輌製造 (株)
- 日本電気硝子 (株)
- 日本電気 (株) (NEC)
- 能勢鋼材 (株)
- (株) 長谷工コーポレーション
- パナソニック オートモーティブシステムズ (株)
- パナソニック (株) 空調空調社
- 阪神電気鉄道 (株)
- (株) 日立建機ティエラ
- 日立建機 (株)
- (株) 日立製作所

- (株) 日立ハイテク
- 日野自動車 (株)
- 富士車輌 (株)
- フジテック (株)
- ブラザー工業 (株)
- (株) 堀場製作所
- 三菱自動車工業 (株)
- 三菱重工業 (株)
- 村田機械 (株)
- (株) 村田製作所
- (株) メタルアート
- (株) メタルワン
- (株) レゾナック

国・政府研究機関

- 関東信越国税局
- 国立教育政策研究所
- 総務省統計局
- 総務省統計局統計データ活用センター
- 総務省統計研究研修所
- 情報・システム研究機構 統計数理研究所
- (独) 統計センター
- 理化学研究所革新知能統合研究センター

自治体等

- 滋賀県
- 京都府
- 大阪府
- 三重県
- 和歌山県
- 大津市
- 長浜市
- 彦根市 > Pickup
- 野洲市
- 竜王町
- 尼崎市
- 大妻女子大学
- 国立音楽大学
- 膳所高校
- 虎姫高校
- 彦根東高校
- 観音寺第一高校
- 武庫川女子大学附属中学校・高等学校
- 姫路西高校
- 松江南高校
- 若狹高校
- クラーク記念国際高校

その他の団体

- (公社) 関西経済連合会
- (独) 国際協力機構 (JICA)
- 滋賀経済同友会
- 滋賀県商工会連合会
- (一社) サイバースマートシティ創造協議会
- (一社) データサイエンティスト協会
- (公社) 日本医療ソーシャルワーカー協会
- 彦根商工会議所
- 真宗大谷派
- St. Jude Children's Research Hospital
- (一社) 中部経済連合会

※2026年3月現在 (連携当時の企業名)

COLLABORATION PROJECTS



地域課題の解決に データサイエンスの力を。

滋賀県内外の自治体と協定を結び、地域課題の解決に貢献しています。中でも、地元彦根市との連携事業では、人口増減の動向の要因および他自治体との比較等の詳細な分析を行い、エビデンスに基づいて、移住・定住の観点から人口減少対策を提案しました。産業構造、就業状況、通勤状況などの地域の特徴に根差した分析を行っています。また、滋賀県における男女共同参画社会づくりに向けた県民意識調査の調査票設計や結果分析について、学術指導を行いました。これらの研究分析を通じて得た知見を、公的統計データを活用したPBL演習にも活かしています。

トヨタグループとの 「データサイエンス実践道場」



ビッグデータ分析の専門家を育成する 研修プログラムを実施。

滋賀大学とトヨタ自動車株式会社は、トヨタグループのエンジニアをビッグデータ分析の専門家として育成するため、2017年に研修プログラムを開始、2023年度からは「データサイエンス実践道場」として継続しています。プログラムでは、本学教員とトヨタグループ内の研修経験者が指導し、修了生が次年度以降の指導役となる体制を構築。コロナ禍にオンライン指導に切り替えたことで指導規模が拡がり、2023年度には約250人を指導しました。道場は毎年5月から翌年3月まで行われ、優秀者には学長賞が授与されています。2024年度からは初回のみオンラインと対面のハイブリッド形式で実施しています。



データ加工技術についての 教材を共同開発。

2019年に「Data Engineering and Machine Learning Center (DEMLセンター)」を設立し、株式会社帝国データバンクが保有する企業ビッグデータの解析を通じて、アフターコロナにおける倒産件数の予測レポートの公開や金融経済・地域経済に関する学術発表を行っています。教育活動では、2024年に帝国データバンクと滋賀大学が連携して開発した動画教材「データサイエンスの必須スキル! データ研磨入門～大学生のためのデータサイエンスシリーズ～」を開講しました。本講座ではデータを分析が可能な形式にするための前処理である「データ研磨」に着目し、より実践的なデータ活用の習得を促進します。

MS&AD あいおいニッセイ同和損保



ビッグデータ専門研究拠点を開設し、 研究を推進。

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社と滋賀大学は、2017年にビッグデータ専門研究拠点「日本セーフティンサイエティ研究センター (JSSRC)」を設立しました。交通事故防止や安全性向上を目的に、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社が保有する自動車事故関連情報などのビッグデータをはじめとした国内外の資料を収集し、データ分析や調査研究を推進し、事故要因を突き止めて事故防止などに役立てています。このビッグデータを活用した研究において、2024年には国際学会の発表で学生が賞を獲得するなど、実データによる実践的な研究を通じたデータサイエンティストの育成を進めています。



完成イメージ



2026年冬完成予定 データサイエンスみらい創造館

文理融合型人材育成を行う数理DS・AI教育の場として、データサイエンスみらい創造館には、450名を収容できる講義室や、大学院生の研究室が整備される予定です。

充実の学習環境



イニシアティブ棟

共同研究を行う企業のラボを数多く設置しています。学生と企業、研究者が自由に交流して新しいアイデアを生み出し、イノベーションを起こす空間です。



DSラーニング・commons

自習スペースやミーティングなどに利用することができるスペースで、学生の学びをサポートしています。データサイエンスに関する参考図書も多数揃えており、学生たちは積極的に利用しています。



地域連携教育推進センター

企業セミナーの開催や地域活動ボランティアの紹介など、学生が自分の関心に応じた課外活動を見つけるためのサポートを行っています。

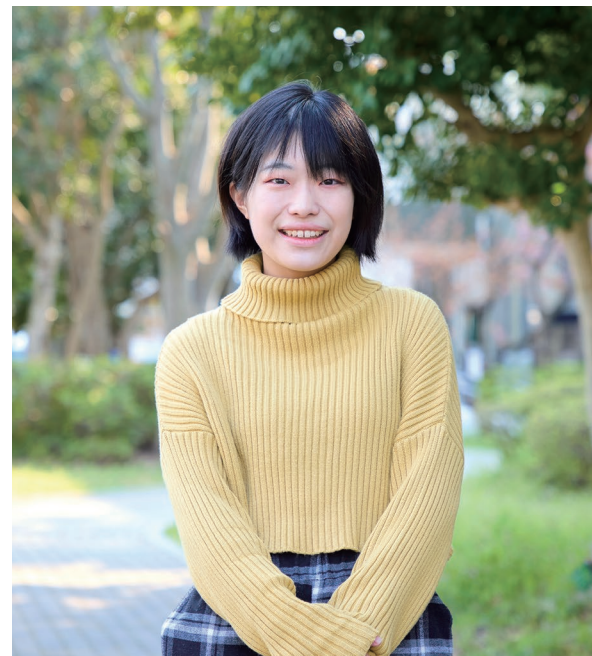


大学生協Caffè LAGUNA

彦根キャンパスには、大学生協が運営している購買と、カフェテリア形式の食堂があります。カフェテリアではできたてのトーストや季節限定スイーツがあり、友人と楽しく過ごすことができます。

Campus Life

※情報は取材当時のものです。



データ分析の経験を積むために、 コンペティションに参加しています。

石坂 綾音さん 2年 札幌南高校(北海道)

データサイエンスの理論や考え方を中心に学ぶ中で、2年次はデータサイエンスの体系的な理解をより深め、データサイエンスによる価値創造に焦点を置いた勉強を積極的に行いました。3年次からは考えを形にするために、プログラミング言語や機械学習の知識の習得、分析に必要なデータ収集の過程が学べる「社会調査法」の履修を考えています。履修に備えて、自主的にコンペティションに参加して、データ収集に必要な視点を養っています。

off time

所属している卓上ゲーム研究会は、この先も長く続く研究会になるよう、運営を行っています。データ分析の経験を積むために個人的に参加しているコンペティションやハッカソンでは、社会で通用するコミュニケーション力を身につけることに注力しています。



【2年次秋学期】

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1			データサイエンス 応用演習		
2			統計活用 演習B		ソフトウェア設計
3	生成AIの 理論と活用				データ研磨
4	品質管理	データベース	言語と文化		プログラミング4
5	AI・機械学習 入門	時系列解析 入門			プログラミング4 演習
6					
7					



専門科目と並行して幅広い科目を履修、 自主ゼミにも積極的に取り組んでいます。

古本 雄士さん 2年 三田学園高校(兵庫県)

2年次は必修科目が減り、専門科目以外も自由に選択できたため、経済学部先生が開講する科目を履修し、幅広い内容を学ぶことができました。特に心理学に興味があり、3年次以降に心理分析の授業を選択する予定です。授業外では、学生生活に慣れた2年次から3つの自主ゼミ※に参加しました。就職活動の相談ができる先輩と知り合えたほか、企業連携や万博出展といった貴重な経験をすることができました。

※3年次に配属されるゼミとは別に、希望する学生が自由に所属できるゼミ。

off time

囲碁将棋部と水泳部に所属しています。2025年に「中部学生将棋春季個人戦」で優勝し、滋賀大学学長賞をいただきました。また、彦根市で子ども向け将棋道場のオープンを手伝い、現在も他大学の将棋仲間と活動を続けています。



【2年次春学期】

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1	世界経済と 東アジア		データサイエンス 応用演習		
2			線形代数		
3	実験計画法				
4	品質管理	データベース	人間と経済		
5	マクロ経済学A				
6			情報化と社会		経営学
7	物質と エネルギー				経済学からの 問い

データサイエンティストとして企業から大きな期待を受け、第6期生が卒業。

2021年に初の卒業生を送り出し、その後、データサイエンスのニーズが高まる中、多数の企業連携やインターンシップで養った実践力を活かして内定を勝ち取っています。多くの卒業生が情報産業や製造業、金融業といったさまざまな業界で活躍中です。

主な就職・進学先

【IT・データ／コンサルティング】

アクセンチュア(株)、伊藤忠テクノソリューションズ(株)、(株)NTTドコモ、NECソリューションイノベータ(株)、(株)サイバーエージェント、Sky(株)、(株)ゼンリン、(株)大和総研、東芝デジタルエン지니어リング(株)、日本アイ・ピー・エム(株)、日本経済新聞社、(株)日立ソリューションズ、三井住友トラスト・システム&サービス(株)、三菱総研DCS(株)

【製造(機械・電機・自動車・素材)】

(株)IHI、(株)アイシン、(株)イシダ、石原ケミカル(株)、オムロン(株)、京セラ(株)、(株)SUMCO、(株)SCREENホールディングス、住友金属鉱山(株)、セイコーエプソン(株)、ダイハツ工業(株)、東京エレクトロン(株)、トヨタ自動車(株)、(株)豊田自動織機、日東電工(株)、日本電気(株)、任天堂(株)、パナソニック(株)、(株)日立製作所、日野自動車(株)、富士通(株)、(株)ブリヂストン、本田技研工業(株)、(株)村田製作所、ヤマハ発動機(株)、ヤンマーホールディングス(株)

【製造(食品・消費財・ヘルスケア)】

花王(株)、サッポロビール(株)、サントリーホールディングス(株)、日清食品ホールディングス(株)、ロート製薬(株)

【流通・サービス】

(株)大塚商会、(株)ニトリホールディングス、(株)阪急阪神百貨店、(株)平和堂、三菱倉庫(株)、(株)MonotaRO、(株)リクルート、(株)ローソン

【金融・保険】

あいおいニッセイ同和損害保険(株)、(株)京都銀行、(株)滋賀銀行、第一生命保険(株)、(株)三井住友銀行、三井住友カード(株)、(株)三菱UFJ銀行、明治安田生命保険(相)、(株)SMBC信託銀行

【交通・社会基盤】

関西電力(株)、佐藤工業(株)、西日本高速道路(株)、西日本旅客鉄道(株)、日本航空(株)、中部電力パワーグリッド(株)、東急(株)

【官公庁・自治体】

大阪府庁、京都市役所、滋賀県庁

【大学院進学】

滋賀大学大学院 データサイエンス研究科、東京科学大学大学院 情報理工学院、名古屋大学大学院 環境学研究科、奈良先端科学技術大学院大学

大学院 | データサイエンス研究科

2019年4月開設のデータサイエンス研究科・博士前期課程では、ベンチャーを含む中小企業や大企業・政府を問わず、各分野で求められているレベルのデータサイエンティスト育成をめざします。企業などとの共同研究に参加することも可能で、課題の発見からデータ収集・分析を行い、その結果に基づく業務改善提案や新たな知見の発見など、データから価値を創造するための一連の過程を実践します。2020年4月に開設された同研究科・博士後期課程では、データサイエンスに関する新たな基盤技術を生み出し、新たな価値創造の場を開拓できる高度職業人や研究者を育成します。



さまざまな分野を幅広く学び、多様な学生と交流できる環境が魅力。

田原 弥さん

データサイエンス研究科 博士前期課程 1年 ※取材当時
滋賀大学データサイエンス学部 卒業

課題の把握から実際の分析、アウトプットといった一連のプロセスを経験することで、社会でデータを活用するためのノウハウの習得をめざしています。さまざまな分野の教員がいるため幅広い学びができること、独自の奨学制度によって経済的な負担を軽減できるなど、学ぶ環境が整っていることが魅力です。社会人学生も多いため、交流の機会があることも貴重だと思います。

Career

データ分析を起点に事業の意思決定に伴走

花王株式会社で、自社のサービスを利用する人から集めたデータの分析と、マーケティングの提案を行う加藤有紗さん(2021年3月卒業)。学生時代は河本薫先生のゼミで企業連携型PBL(課題解決型学習)に注力。「企業の方々の継続的なフィードバックの元、企業が抱えるビジネス課題に対して仮説を立て、データサイエンスの知識や技術を応用して解決策を構築する、という実践的なスキルが学べました」と語ります。今後のキャリアについては、「データ分析を起点に事業の意思決定に伴走し、これからも事業の持続的な成長を支援していきたいです」



■専任教員



市川 治 教授
学部長
音声データ／
テキストデータ／
深層学習



青木 敏 教授
離散データ解析／
実験計画法／
グレブナー基底



青木 高明 教授
数理解理モデリング／
ネットワーク科学



飯山 将晃 教授
画像処理／
画像認識／
深層学習／
コンピュータビジョン



石川 祐実 講師
健康経済学／
開発経済学



和泉 志津恵 教授
統計科学／
医療統計／
リスク解析



今井 貴史 講師
非線形動力学／
時系列データ分析



岩山 幸治 准教授
非線形時系列解析／
バイオインフォマティクス



梅津 高朗 准教授
高度交通システム



江崎 剛史 准教授
ケモインフォマティクス／
バイオインフォマティクス／
in silico創薬



太田 智美 講師
メディアデザイン／
ロボット／音楽



大塚 道子 准教授
気象データ分析／
データ同化



奥村 太一 准教授
心理統計学／テスト理論



川井 明 准教授
情報科学(ネットワーク)



河本 薫 教授
データ科学／
ビジネスアナリティクス



来嶋 秀治 教授
数理工学・
オペレーションズリサーチ



佐藤 健一 教授
統計的データ解析／
回帰分析／
変化係数



佐藤 智和 教授
コンピュータビジョン／
仮想化現実／複合現実



佐藤 正昭 教授
統計調査／
人口・社会経済統計／
EBPM



島田 貴仁 教授
エビデンスに基づく
政策形成(犯罪予防)／
ナッジ／
実務家と研究者の協働



清水 昌平 教授
(大学院担当)
統計科学／機械学習／
因果探索



伊達 平和 准教授
社会調査



田中 琢真 教授
理論神経科学



チャン ディン トゥアン 准教授
機械学習／画像処理／
コンピュータビジョン／
ロボットビジョン



寺口 俊介 教授
物理学・宇宙物理学／
機械学習／
バイオインフォマティクス



南條 浩輝 教授
自然言語処理／
音声言語情報処理／
深層学習／マルチモーダル



姫野 哲人 准教授
多変量解析／
高次元データ解析



笛田 薫 教授
統計的モデリング



藤井 孝之 准教授
確率過程／
変化点解析



堀 兼大朗 講師
社会学／
社会調査／
障がい者差別



増田 純也 准教授
マーケティング／
マーケティング・リサーチ／
消費者行動



松井 秀俊 教授
統計的モデリング／
関数データ解析／
スパース推定



村松 千左子 教授
医用画像解析／
画像処理／
深層学習



森岡 博史 准教授
機械学習／
深層学習／
非線形表現学習



山口 崇幸 講師
応用数学／
力学系／
数値計算



吉田 拓真 准教授
極値統計学／
統計的モデリング／
ノンパラメトリック平滑化



義久 智樹 教授
IoTデータサイエンス／
情報科学／
ストリームデータ

■データサイエンス・AIイノベーション研究推進センター教員

岩崎 悟 講師

アトラクタ構成／逆問題／機械学習

大西 龍貴 助教

計算機統計学／医工情報学

後神 利志 准教授

原子核物理学／ハドロン物理学

田中 克幸 助教

Economic Data Science／information Retrieval／
Image Classification

陳 峻冬 助教

写真測量／リモートセンシング

中川 雅央 助教

システム工学／信頼性工学

西尾 治幾 講師

分子生態学／時系列解析／エビゲノミクス

藤井 祐樹 講師

素粒子実験／大規模データ解析／オンラインデータ処理

松島 裕康 准教授

社会シミュレーション／機械学習／進化計算

三井 真吾 講師

半導体検出器／SOIピクセル検出器／素粒子実験／X線線留応力測定

榎本 大悟 講師

交通シミュレーション／スマートシティ／データサイエンス

小野島 隆之 講師

認知神経科学／非線形振動子／時系列解析／リアルタイム信号処理

高柳 昌芳 准教授

分子シミュレーション／ビッグデータ処理

千代延 未帆 助教

数値解析／特異値分解／情報処理

土田 旭 講師

写像の特異点論／サブリーマン幾何学／幾何学的制御論

中河 嘉明 講師

計算生態学／数値シミュレーション／社会実装／複雑系の解明

長谷川 蒼 助教

代数的位相幾何学／カンドル

藤澤 知親 講師

進化ゲノミクス／系統ゲノミクス／DNA分類学

松原 悠 講師

災害科学／社会調査／質的研究／アクションリサーチ

米山 慎太郎 助教

統計的因果推論／欠測データ解析

※2026年6月1日現在。 ※このほかさまざまな領域の実務家を含めた多数の客員教員がいます。